

(様式2)

## 学校関係者評価報告書

愛媛県立新居浜工業高等学校  
学校番号(7)

評価実施日	令和7年2月5日(水)		
委員	氏名	所属等	備考
	中川 文生	学校評議員	出席
	平田 利實	学校評議員	出席
	久保 弥生	学校評議員	欠席(提出)
	加藤 啓子	学校評議員	出席
	神野 恵介	学校評議員	出席
	曾我部信也	新居浜市青少年センター所長	出席
	今井 基博	新居浜市少年補導委員協議会会長	出席
	佐藤 秀樹	新居浜市経済部産業振興課長	欠席(提出)
	山下 知洋	P T A会長	出席

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>(1) 教育目標 5年以内の卒業生(O B)を各科で招いて、それぞれの懐かしのクラスを訪問してもらう。30分程の講義や対談をして在校生の指針にする。</p>	<p>卒業後数年以内の卒業生を招いての講演は、マッチングフェアにおいて、1、2年生全体に一斉に行っている。また、クラスによっては、独自にホームルームの時間に科の卒業生を招き、話す機会を設けている。卒業生の話は、生徒にとっても参考になるので、このような機会を可能な範囲で設定することを検討したい。</p>
<p>(2) 学習指導 家庭学習の増加のためにICT機器を活用した宿題も検討されてはいかがでしょうか。  生徒の学力向上につながる授業の実施についてのアンケート結果では、教職員・生徒・地域の評価と比べ、保護者の評価が明らかに低く、認識の相違がうかがえます。家庭での親子のコミュニケーション不足が要因だとは思いますが、学校側からも保護者に対して授業で取り組んでいる様々な工夫について、もっとアピールすべきではないでしょうか。</p>	<p>・幾つかの科目で実践している。情報共有を図りながら、生徒が取り組みやすい課題を研究し、学習時間の増加等につなげていけるようにしたい。  ・保護者の評価が低いのは、定期考査の成績票や学期末の成績通知表を見た結果が一因にあると考えられる。定期考査等の問題、学習評価の在り方やその方法等も含め、各教科・各科目で工夫しながら、生徒の学力向上を目指した取組をしていきたい。</p>
<p>(3) 学校経営 学校ホームページの充実に加えてSNSを活用したP T A連絡網を開設するなど、学校からの情報発信は非常に充実しており素晴らしい。自己評価Aは妥当だと思う。</p>	<p>P T A実行員会のマチコミメールグループを活用し、情報伝達の迅速化と、情報共有をよりの確に進めたい。また、マチコミメールへの加入率を100%へ向けて、尽力したい。</p>

<p>(4) 工業教育</p> <p>自己評価表の「実践的技術者としての知識・技術の充実」という項目では、「取得対象者数・資格検定取得者数ともに微減」と記していますが、ジュニアマイスターシルバーの取得対象者数は、令和4・5年度と比較して、半減（8人→4人）しています。この状況からすると、少し認識が甘いような気がします。</p> <p>改善方策も「難易度の高い資格検定に気を持ってチャレンジできる環境を作り」とありますが、抽象的な表現で具体的にどのような改善に取り組んでいくのか分かりません。</p>	<p>資格取得者数が前年比で減少している状況を工業教育に携わる者として危惧している。</p> <p>時間外であっても各科で熱心に資格指導等に取り組んでいる教員が多くいるが、近年の働き方改革から教職員の多忙化を解消する必要性が叫ばれているため、外部人材の活用を含めて対策が必要であると考えている。また、運動部に所属している生徒にとっては、なかなか資格取得の補習指導を受講できない現状がある。これらの状況を踏まえて各科に資格指導をお願いしていきたいと思っている。</p> <p>今後は、企業や組合の皆様のお力をお借りしながら、技能士などの資格取得を目指せる環境を作っていきたい。</p>
<p>(5) ICT環境</p> <p>YouTube チャンネルの動画制作数が2と、令和4年度の37、令和5年度の12と比べ激減し、目標40に遠く及びません。「放送部による動画制作に依存している」現状のようですが、なぜ2年の間にここまで減ったのか、原因を探るべきではないでしょうか（単に生徒の資質・やる気の問題なのか?）。目標値の設定時点において、何か見落としていた課題はなかったのでしょうか。</p> <p>動画配信の意図するところは、教職員、生徒の皆さんで十分共有されていますでしょうか。共有されないまま、また共感されないまま、動画の本数を増やすことは難しいと思われ、また、良い動画の制作は難しいのではないかと思います。</p>	<p>動画制作の目的が教育活動の広報であるため、これまで行事や部活動を中心としたものから教科へと広げ、量より質に移行したい。</p> <p>また、動画の制作数を目標値に設定していることによって、制作することが目的となってしまうように、広報の在り方について全教職員で取り組みを進めたい。</p>
<p>(6) 特別活動</p> <p>運動会では、生徒は実に生き生きと活動していた。アンケートの評価も良好であり、部活動加入率や全国大会出場などでも高い実績を上げている。地域に貢献する活動にも積極的に取り組んでおり、自己評価Bは妥当だと思う。今後も生徒が達成感を持ち、豊かな人間性が育まれていくことを期待している。</p>	<p>運動会や新工祭などの学校行事もコロナ前の通常開催となり、生徒会やグループ長等のリーダーを中心に生徒たちが自主的・意欲的に活動できている。</p> <p>部活動においても、生徒がしっかりとした目標を持ち、積極的に活動し、成果を上げている。</p> <p>今後も生徒がそれぞれの場面で目標達成に向けて、自主的・意欲的に活動させることにより、充実感や達成感を味わわせるとともに責任感や連帯感を高めさせ、豊かな人間性や調和の取れた心身の発達を促したい。</p>
<p>(7) 生徒指導</p> <p>生徒課長から年度始めの頃、身だしなみ指導の合格率が非常に悪いと伺っていましたが、男子生徒の頭髪(ツーブロック許可)をめぐり、相当な努力をされた結果が過年度実績や当年度目標を大きく超える合格率 84%という数字につながったのでしょうか。価値のある「B」評価だと思います。</p>	<p>年度当初に生徒課が掲げた目標について</p> <p>① 身だしなみ合格率80%以上を目指す。 → 84%となり目標達成。</p> <p>教員だけでなく、生徒会を中心に生徒を巻き込んで身だしなみ指導の合格率アップを目指した取組が実を結んだ。それにより数年にわたり生徒が要望していたツーブロックを許可することができたことは大きな前進である。しかし、これに満足することなく、当たり前の身だしなみが当たり前にできる生徒の育成に今後も尽力したい。</p>

<p>(7) 生徒指導</p> <p>校内は先生の指導の徹底が図られると思うが、広範囲から通学している生徒の多い工業においては、特に自転車マナー等の安全指導の徹底が急務だと思う。</p> <p>規範意識の低い生徒を指導するのは、大変と思いますが、根気強く、ねばり強く、地域や当局の協力も得ながら、先生方全員でよろしく願い致します。</p>	<p>② 遅刻数を減らす → 150 減少し、やや達成</p> <p>昨年度は 1300 を超える遅刻数であったが、今年度は、1150 であった。基本的な生活習慣が確立されていないことが、交通マナーや問題行動などあらゆる問題に通じていると実感している。</p> <p>今年度から生徒課だよりを発行して保護者との連携強化を図ったが、今後も粘り強く保護者と学校が同じ方向を向いて生徒指導に当たりたい。</p>
<p>(8) 教育相談</p> <p>相談しやすい環境について、保護者の評価が目立って低いので、何らかの取組が必要だと思います。</p> <p>学校評価数値目標には、紙によるアンケート実施しかありませんが、Teams を活用したオンライン相談も始められていることを伺いました。目標や達成状況が単純に数値で測れない部分が多いと思いますが、教育相談の充実に関しては、評価「C」以上の価値があると思います。</p>	<p>保護者には学期末懇談会と同期間に教育相談担当者との面談を「教育相談室だより」で案内している。配付プリントが保護者に確実に届くように、今後はマチコミでも配信していく。</p> <p>生徒の個人端末を利用した悩み相談には対応できる課員数も限られているため、保護者には引き続き、電話で直接話を聞かせていただきたいと考えている。</p>
<p>(9) 人権・同和教育</p> <p>次年度の改善方策にあるように、「全ての教育活動の場面において、人権・同和教育の視点に立った指導」「学校生活の全ての場面で人権感覚を磨く」ことが大切だと思う。様々な活動が、問題行動の未然防止や早期発見につながるように、尽力していただきたい。</p> <p>人権意識を高める教育の実践についてのアンケート結果では、教職員・生徒・地域の評価と比べ、保護者の評価が明らかに低く、認識の相違がうかがえる。家庭における生徒と保護者の対話促進を図る工夫が必要であると感じる。</p> <p>生徒からの相談により、いじめを解決された事例をうかがった。直接相談しやすい雰囲気づくり、Teams の活用など、いじめ対策は着実に進められていると思う。</p>	<p>いじめや差別は命にも関わる放置することのできない重大な問題であるという認識で、人権・同和教育ホームルームだけではなく、全ての学校生活において人権が尊重されるような環境やいじめや差別を許さないクラスの雰囲気を作り上げるようにしっかりと伝えるよう心掛けている。</p> <p>6 月には講師を迎え、全校生徒を対象に相手の気持ちを傷つけずに自分の気持ちを伝えることの大切さや具体的な方法について講演をいただいた。8 月には高知県長浜地区での研修会、12 月には「ふれあいフェスタハートフル新居浜」に人権委員や放送部員が参加し、得た学びをクラスに持ち帰って伝えた。このような活動を充実させたいと考えている。</p> <p>また、人権だよりはマチコミで全保護者に配信をしているため、少しでも家庭での話題のきっかけになるように今後も続けていきたい。</p>
<p>(10) 進路指導</p> <p>自己評価表、学校評価数値目標及び進路指導状況（過去 5 年間）を見る限り、毎年卒業生全員が就職・進学しているようです。就職内定率、進学先決定率ともに 100%という高い目標を例年のように達成しているのはすばらしいと思います。</p> <p>就職指導については、求人状況や就職内定率、離職率などが良好であり、進学指導については、多様な進学先になっている。生徒の実態や希望に応じた指導を進めていることがうかがえた。生徒の評価が高く、工業に入学して良かったと思えている結果だと思います。</p>	<p>就職に関して、求人倍率は非常に高い割合を示しているが、これに甘んずることなく、基礎学力の定着や職業観の醸成につながる指導を心掛けていきたいと考えている。</p> <p>また、進学に関しては、総合型選抜や学校型選抜などを希望する生徒も増えつつあるので、早い時期からの取組の必要性を感じている。</p>

<p>(11) 学校安全</p> <p>アンケートの評価は良好であり、自己評価A・Bは妥当だと思う。今後も安全・安心な教育環境の維持・管理に尽力していただきたい。</p> <p>また、南海トラフでの巨大地震で基大な被害が想定されている。生徒の危機意識の向上とリアリティーのある訓練の実施等に今後も尽力していただきたい。</p>	<p>年2回以上の非常変災防止訓練を行い、常にリアリティーのある訓練になるように指導していきたい。危機意識向上にも努め、主体的に考えて行動できるよう指導していきたい。</p>
<p>(12) 学校保健</p> <p>若い時から健康や感染症予防対策を自分のこととして捉えられるように授業や講演等の取組をお願い致します。</p>	<p>今年度は、全校生徒を対象に熱中症予防講演会や新工祭の事前指導として食品衛生講習会を実施した。来年度は、新居浜市保健センターと連携し、保健師による健康教育を実施したいと考えている。</p> <p>今後も生徒が自身の健康の大切さについてより意識付けできるように保健教育の充実を図っていきたい。</p>
<p>(13) 学校行政事務</p> <p>アンケートの評価は良好であり、自己評価Bは妥当である。物価の急上昇が続いている中、限られた予算で学校行政事務の充実を図る事は困難であると思うが、今後も効率的な施設設備の整備改善に尽力していただきたい。</p>	<p>物価高騰により、厳しい予算状況が続いているが、優先順位を考慮しながら、適正な執行に努めたい。</p>
<p>(14) その他</p> <p>先生方は、時間と手間の掛かる生徒指導や教育相談も含めて大変多忙な日々をお過ごしと思いますが、学習支援システム、校務支援システム等においてICT・SNSを最大限活用して、ワークライフバランスを図っていただきたいと思います。</p> <p>目標の達成状況に挙げられている「長期休業中のテレワーク制度の推進」が印象に残った。スクラップアンドビルドに学校全体の英知を生かし、教育の活性化につなげてほしい。</p>	<p>各会議の回数や実施する時間帯を検討するとともに、ICT機器の積極的な活用も視野に入れながら、ワークライフバランスを図ることができるよう努めていきたい。</p>